

特集：天文と社会をつなぐ最近の動向

	IAUが取り組む天文教育・アウトリーチの動向	富田晃彦	553
	プラネタリウムの現状と活動	毛利勝廣	563
	「天文文化学」創設の試み	真貝寿明・松浦清・米田達郎・横山恵理	573
	銀河の渦巻きが都会で見える！ 電視観望用望遠鏡による新しい天体観望会	渡部義弥	583
EUREKA	オリオン座分子雲の広域高密度コアサーベイから見えてきた コアの質量獲得の可能性と新しい星形成シナリオ構築に向けて	竹村英晃	592
月報だより			602

【表紙画像説明】

渦巻銀河 M51 は、1845 年に渦巻構造が発見された史上初の天体である。発見者はロス卿パーソンズで、彼が建造した当時世界最大の口径 183 cm 反射望遠鏡が使われた。その渦巻を、大阪近郊で、口径 11.4 cm の電視観望専用望遠鏡 eVscope でとらえ、実際に見えたものをそのままキャプチャーした。電視観望によって、だれもが都会で銀河の渦巻を見られる時代が来た。なお、経緯台式の望遠鏡なので、画像の上下が南北に沿わない。

【表紙デザイン】

「けんびきょう座」

16 世紀後半に発明された顕微鏡。レンズの組み合わせなど様々なアレンジと共に進歩を遂げる。顕微鏡をモチーフに、ミクロの世界をイメージした創作切り絵です。

Microscopium (Mic)

The constellation Microscopium lies in the southern sky. It is one of the constellations named by Lacaille for scientific instruments.